



荒湯での野菜の湯がき 湯村温泉・荒湯



七釜温泉ゆーらく館



岸田川



ブナ苗木の植付け



Mountains and Hot Springs

The town has two main rivers, the Kishida River and the Kuto River. These rivers flow from the broadleaf and beech forests of the Ueyama-Heights and other mountains, carrying rich minerals and nutrients to the sea, benefiting the marine resources. The Yumura and Hamasaka hot springs are enjoyed by towns people and visitors alike. Our town aims to utilize its natural resources in an effective and sustainable manner.

山と温泉と。

新温泉町には、氷ノ山後山那岐山国定公園に位置する上山高原をはじめとした雄大な山々を源流とした岸田川や久斗川などの河川があります。これらの河川には上山高原などに広がるブナ林などの広葉樹から流れたミネラルなどの豊富な栄養素が溶け込み、沿岸地域や日本海を潤しています。また、湯村温泉や浜坂温泉郷に代表される県内でも有数の温泉資源があります。地域住民は、昔から身近な温泉を生活の中にさまざまな形で取り入れてきました。新温泉町では、これらの資源を有効的に、また持続的に活用しています。

川、海を守る 上山高原の保全、再生活動。

氷ノ山後山那岐山国定公園に指定された標高750～900メートルの高原状の台地に位置する上山高原。この一帯は、ブナの原生林やススキ草原が広がり、イヌワシやツキノワグマ、ザゼンソウやタジマタムランソウなどの希少動植物が生息・群生する地域として、学術的にも価値の高いエリアです。多くの自然が残る小又川渓谷や霧ヶ滝渓谷などを源流とする岸田川では、全国最南端の地としてサケの回帰事業が実施されています。さらに、周辺集落では柵田や但馬牛の飼育、山の食材を使った郷土料理など、山間部特有の生活文化を形成しています。

そして、上山高原の原風景の保全、再生活動に取り組んでいるのが、平成18年夏にオープンした上山高原ふるさと館を拠点とし、地元住民が主体となって運営する「特定非営利活動法人・上山高原エコミュージアム」です。スギなどの人工林を伐採してブナ苗木の植付けによって落葉広葉樹林にし、またササ密生地や灌木林を伐採してススキ草原に変える活動を行っています。



小又川渓谷

ます。さらに上山高原や地元集落周辺にある有形・無形の資源を活かしての体験型プログラムを実施するなど、町内外との交流も図っています。

こうして徐々に復元されているブナをはじめとした落葉広葉樹は水源涵養林として山の保水機能を向上し、河川への流量の調節を果たし、またススキ草原はイヌワシの狩場となるなど草原性動植物の生息群生地になっています。

温泉資源の有効活用。

湯村温泉の歴史は古く、嘉祥元年（848）、慈覚大師により開湯されたと伝えられています。以来、泉量・泉質ともに少しの衰えも見せず、湯治客や地元住民を癒し続けています。摂氏98度の荒湯をはじめとした約60ヶ所の源泉の総湧出量は毎分2300リットルを誇り、その豊富さから旅館のみならず一般家庭にも配湯されています。

また、昭和53年発見の浜坂温泉、昭和44年発見の二日市温泉、昭和30年に発見された七釜温泉はいずれも温泉利用の効果が十分に期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えていることから、平成3年に県下初の国民保養温泉地「浜坂温泉郷」として指定されました。なかでも浜坂温泉は、住民の健康増進を図るため、昭和56年に全国初の「国の省エネルギー事業」の指定を受け、各家庭を全長18キロメートルのバイパスラインでつなぐ、みんなげ（げい家）湯の町システムを整備しました。これにより、「蛇口をひね



浜坂温泉の泉源



一般家庭への配湯(浜坂地区)



上山高原